

テーマ

奈良を知る 地域を知る

目 標

地域の人々が線から面へとつながり、**地域を誇れる子どもたちの育成**

今年度の取組紹介

・文化講演会

地域の良さを学び、自分を育んでくれた地域や学校を誇りに思う生徒の育成をめざしています。今年度は、帝塚山大学教授の西山厚先生に「正倉院と若草中学校」と題し、ご講演いただきました。西山先生の柔らかな語り口でわかりやすく楽しい講演会になりました。



・コーディネーター会議

年間6回の「地域コーディネーター会議」を継続して開催することができました。和やかに話し合いを進めることができ、小学校区どうしの地域の方々のつながりが深まってきていることが実感できます。



・取組見学会

取組の「見学会」を実施できました。特徴ある各運営委員会の取組を見学することで、コーディネーター同士での情報交換や交流がさらに深まりました。

・校区交流ルーム

「校区交流ルーム」の整備を進めています。これからも校区の各運営委員会の取組のようすを紹介していきたいと考えています。

今年度のまとめ

「校区交流ルーム」の整備や、「地域コーディネーター会議」、「取組見学会」の継続ができました。

和やかな話し合いや情報交換が進み、小学校区同士の地域の方々のつながりが深まりつつあります。

各校園を見守っていただいているたくさんの地域の方々がおられることを実感しています。それぞれの校園で行っている取組を線で結びつける意識付けをさらに進めていき、もっと有機的な人々のつながりをつくっていききたい、と考えています。

来年度に向けて

・「地域コーディネーター会議」を継続して開催し、情報やアイデアを交換することにより校区コーディネーター同士のつながりをさらに深めていきます。

・若草中学校区内各校園の取組の「見学会」を計画的に実施し、活動内容の理解を深めながら連携を模索していきます。

・「校区交流ルーム」をさらに整備し、充実したものにしていきます。

これらによって、それぞれの校園の取組を継承しつつ、小学校校区の垣根を低くし、取組の連携を模索しながら、幼から小へ、小から中へと滑らかな接続がなされ、協議会へと集約されていくことをめざします。

テーマ

学びをはぐくむ

目標

自ら学ぶ姿勢と意思を表現できる力を身につける

今年度の取組紹介

○学習支援

- ・「学びのはぐくみ」の作成・配布

家庭学習のすすめかたや3年間の学習を見通した冊子「学びのはぐくみ」を作成しています。「学びのはぐくみ」を活用して、小中の系統的な学びに結びつけていきたいと考えています。

- ・「中3学習会ボランティア」

3年生では進路実現に向けてより確かな学力をつけるために地域のボランティアに協力いただき学習会を開いています。



○学校行事

- ・「文化祭」「私の主張」発表会

自分の訴えたいことをしっかり伝え、友の話に心から耳を傾ける雰囲気を作りたいと考えています。今年も学級、学年、文化祭の場で発表会を行いました。

- ・「ゲストティーチャー」から学ぶ

1年生では、フランス、ニュージーランド、イギリス3名の方からの文化や自然について学びました。2年生では、6名の講師の方をお招きし、職場体験の事前学習会を行いました。障がい者理解講演会では、車いすバスケットの元日本代表の根木さんから学びました。

○環境整備

- ・「図書室と校地環境の整備」

PTAや地域の方々がボランティアとして図書室の蔵書整備や飾り付け、校舎壁面のペンキ塗り、花の植え付けなど生徒の学習環境をより美しく整備いただき感謝しております。



○安全支援

- ・「部活動巡回ボランティア」

職員会議等で部活動の場に顧問がつかない現状の中で、活動する生徒を保護者の皆様が巡回ボランティアとして見守っていただいています。

今年度のまとめ

ゲストティーチャー・保護者・地域の方々に生徒の姿を見ていただく機会が多く持てました。また、生徒たちは多方面でご活躍の方々から数多くのことを学ぶことができました。

来年度に向けて

小中の系統的な学びや地域の方々との連携を進め、生徒たちが地域に貢献できる場面を増やしていきたいと考えています。

テーマ

鼓阪のすてきな出会い、すばらしさ発見、さらにいいところへ

目標

地域の伝統文化や歴史的な事物に触れる活動を通して児童、地域を高める

今年度の取組紹介

◎つざかフェスタ事業を通して

本校は、地域の「ひと」・「もの」・「こと」を、低学年は「生活科」、中学年・高学年は「総合的な学習の時間」を中心に聞き取りをしたり、現地に行って調べたりしています。その知り得たことから自分達の考えや思いを発信するためにつざかフェスタを行っています。この発信は他学年とつざかの町の人へのものです。学年が上がるほどつざかの町のことをよく知るようになり、また自分たちの町を誇れるようになってきているように感じます。今年度、低学年は保育園のお友だちや校区にあるお店を中心に、中学年は地域にある施設を中心に、5年生は世界遺産を中心に、6年生は平和学習を中心に発信しました。地域、保護者、児童が学習の成果を共有し、新たな課題について地域とともに学習を進めていく重要な事業となっています。



◎達人に学ぶ事業を通して

今年度は、低学年は「昔遊び」を、高学年は「鼓阪小と転害門」「戦争当時の鼓阪小」のお話をそれぞれ地域の達人を招いて、教えていただきました。特に高学年で行った聞き取りは、今いる鼓阪小学校がどのような時代を経てきたのかを具体的にうかがい、児童の心を揺さぶったように感じる学習でした。



今年度のまとめ

世界遺産に囲まれた素晴らしい環境に恵まれ、それら歴史にまつわる様々な行事、習慣等地域が守り続けた事柄が大変多く、守り続ける人々の結びつきは大変強いです。このような環境の中、学校が様々な「ひと」「もの」「こと」との出会いを演出することで地域との結びつきを深め合えるよう取り組んできました。各取組を通して、児童には地域に対する誇りを持つようになってきています。また、地域の方々より協力、アドバイスを受けながらつながりがより一層できたように思います。

児童は、地域に住みながらも、まだまだ知らないことが多くあります。地域とのつながりをより一層密にしながら、「ひととの出会い」を大切にし、進めていきたいです。

来年度に向けて

来年度はさらに地域の「ひと」「もの」「こと」との出会いを大切にし、お互いに協働し、創りあげていく活動を織り込みながら事業を進めていきたい。

テーマ

佐保に生きる

目標

- ・ 佐保のよさが分かり、佐保を愛する心情と態度を育てる
- ・ 佐保の自然や文化遺産を学ぶ

今年度の取組紹介

環境・美化活動

5年生は、佐保の森にあるビオトープの維持管理を、地域の方に支援してもらいながら進めています。水辺に合う植物を植えたり、周りの環境を整えたりすることで、自然に「触れ」、「慣れ」、「親しみ」ます。このようにして、「命」や「生きる」を身近な自然から発見しながら、環境学習を深めていきます。



幼小連携・ともだち活動

異年齢集団活動は、子どもたちが、人とつながることの大切さを知ることや友だちへの思いやりの心を育てています。友だちとのがんばりは、自分のよさを高める活動になります。幼小の両方にも、地域のボランティアの皆さんが、関わっていただき幼小連携に大きな役割を担っていただいています。このことにより、低学年の児童にもリーダーとしての役割や活動への自主性が培われています。

オープンスクール

子ども、保護者、地域住民、教師が共通の体験を通して、コミュニティ（「佐保に生きる」）意識の高まりを図ることを目的として、11月21、22日の二日間にわたって開催しました。ここでは、子どもたちの平素の学校生活（施設）や作品を公開することにより、佐保小学校の現状並びに目指す教育の方向を周知してもらっています。今年度は、通常の授業のほか、ICT活用やALTでの外国語活動の授業も参観していただきました。



今年度のまとめ

地域の行事に積極的に参加し地域との関わりを深めることで、児童一人ひとりが、自分の住んでいる佐保のよさを理解し、地域の方のつながりや支えによって生きていることを感じるようになったように思います。また、児童が生き生きと活動する姿にこそ、佐保のよさを知り佐保を愛する心が育ってきていると感じます。そして、そのことによる児童の自尊感情の高まりは、行動の一つひとつの自信と誇りにつながっていると感じます。また、自然やそれを取りまく地域や環境を考える中で、自然や人（地域の方、家族、友だち）そして自分を大切にすることが育っているように感じます。

来年度に向けて

この事業を積み重ねることで、「地域の中での学校」の意識を保護者、教職員ともにもちながら、学校の取り組みを支えていただいている多くの方々はもちろん、ものやことに対して感謝の念を持つ児童を多く育てていきたいと考えます。また、HPやお便りを通して事業の啓発もしっかり行い、この事業に関わっていただける地域ボランティアの方を増やしていきたいと思っています。

テーマ

夢がひろがるつぎ北広場

目標

地域とのふれあい、人・もの・こととの豊かな体験活動を増やし、
学び合い支え合いながら主体的に学ぶ児童を育てる

今年度の取組紹介

本校は年々児童数が減少して1学年1学級となり、地域ぐるみで学校を活性化させることが喫緊の課題です。そこで、保護者や地域の方々との連携を大切にしています。隣接する幼稚園も小規模化しており、幼小連携による学習活動の活性化、相互の育ち合いを大切にしています。

そのため、①生活科や総合的な学習の時間を中心とした多様な体験や多くの方々との出会いの場の設定、②図書室や学年園を中心とした学習環境整備を進めています。

これらの活動で、新興住宅地が多くを占める本校区において、児童に地域への理解を深め、愛着や誇りを持たせることを主眼としています。そのために、本校では中・長期的な視点で、より多くの学校協力者やボランティアによる学校支援の輪を広げようと努めています。

本校の特色の一つである「菜の花プロジェクト」は、これを核として世界遺産学習、環境教育、へと幅広い学習へと体系的につなぎ、魅力ある総合的な学習の時間を構築し、特色ある学校づくりをめざしています。

とれた菜種油は、5年生が、東大寺へは幼稚園児とともに、春日大社へは今年から安堵町の灯芯とともに灯明油として届けました。

菜の花を通して、他地域との新たなつながりが生まれています。



今年度のまとめ

今年度は、「菜の花プロジェクト」を始め、校内環境整備事業、安全見守り活動、地域交流活動等、各活動を深化・発展する1年でした。それぞれの活動は、学校および地域行事として保護者や地域の方々に広く認識されていますが、この流れを確かなものにし、「伝統」としていけるように基礎作りをしています。

これらの活動の多くは、コーディネーターが中心となって自立的に調整・連絡していただいたものであり、本校の教育活動を地域ぐるみで担ってくださっています。連携を支えてくださっているコーディネーターの継承または引き継ぎが、今後の課題となっています。

来年度に向けて

ボランティアの皆さんが高齢化し、新たなボランティアの登録が少なくなっている現在、さらなる活動の深化をめざすために、より多くのボランティアを募集する必要があります、地域に発信しています。

今までの積み重ねを大切にすると共に、地域のボランティアと協議し、発展していきたいと考えています。

テーマ

輝く笑顔、心豊かに育ち合う楽しい幼稚園

目標

家庭・地域との連携を大切にしながら、豊かな心と体を培う。

今年度の取組紹介

- 絵本を通して親子のコミュニケーションや豊かな情操を養うために、地域の方による『絵本の会』で絵本読み聞かせを年間通して実施しました。在園児親子による読み聞かせの後、親子で相談して絵本づくりをしました。また、未就園児保育では、発達に応じた絵本の大切さを伝え、読み聞かせの楽しさを知らせました。地域の方を通して親も子も絵本の面白さにふれ、親子の心がふれあう喜びを味わいました。
- 地域の方の教育力で、年間7回『さほっ子クラブ』をしています。子どもたちは地域の先生の温かいまなざしを感じながら自分の選んだ好きなクラブで、楽しく日本の伝統文化にふれ親しんでいます。クラブ活動《剣道・柔道・華道・茶道》を通して、異年齢の友達とふれあい、かかわりが深まってきました。さほっ子クラブの修了日には、保護者参観をして、子どもたちの成果を見てもらいました。茶道クラブでは、子どもが緊張しながら、覚えたお点前でお茶をたて親が飲み、「とても美味しいわ」と、認め喜んでもらったことで大きな自信となり、教えてもらった感謝の気持ちをもつことができました。修了式で地域の先生に小物入れをつくりプレゼントをしました。



今年度のまとめ

継続して実施している『絵本の会』『さほっ子クラブ』は、保護者評価で100%の支持を得ることができ、保護者の高い期待と地域の方の教育力に感謝の声が聞かれました。保護者からは「特に、さほっ子クラブ、楽しい絵本の会が好きなようです。これからも続けていってほしいです。」地域の方からは「子どもたちが楽しみに待っている姿を見て、とてもやりがいを感じます。一人一人が成長する喜びは感動です。」という声が聞かれ、「先生、こんにちは。」と、自ら進んで挨拶する子どもたちの笑顔が地域の方とのふれあいの絆にもなっています。各事業を実施することで、家庭ではできない豊かな体験となり、人間形成の基礎づくりとなりました。また、継続して一緒に活動することで、地域の方を身近に感じ、地域に見守られているという安心感をもつことができ、地域の方とのつながりがより深まることができました。

来年度に向けて

継続している事業を次年度も実施し、地域の教育力をいただき、地域に開かれた幼稚園として、より一層、地域・家庭・園の連携を深めながら特色ある園事業として進めていきたいと考えています。

テーマ

ふれあい であい 輝け 子どもの夢

目 標

地域や学校との連携を密にし、世代を超えたふれあい、出会いを体験して豊かな心と輝く夢を育む。

今年度の取組紹介

【青山会さんとの交流】

地域のお年寄りの会の青山会と交流会をしました。これまでいろいろな方とふれあう体験を積み重ねてきたことで青山会の方とも積極的に挨拶をしたり、話しかけたり、わらべ歌遊びを楽しむことができました。

また、昔の遊び、こままわしや竹とんぼ・ビー玉などの遊びを教えてもらうなど気軽に話しながらふれあう姿が見られました。



【お茶会】

年5回の計画を立て、講師の先生から指導をしていただきました。日本の伝統文化に触れ、落ち着いた気持ちで和やかにお茶会をすることができました。お茶のたて方や作法だけではなく心を込めて相手をもてなす思いやりの優しい気持ちも教えていただきました。



【他園との交流】

10月に大柳生幼稚園との交流をしました。コスモスの咲いている般若寺で手をつないで見学した後、植村牧場で牛を見学したり、働く方とふれあったり、武田商店で鹿せんべい作りを見せてもらったりしました。奈良豆比古神社では、地域の方に神社の由来や樹齢1300年の楠のことを教えてもらいました。幼稚園に戻ってから、一緒に弁当を食べて2園でリレーをして楽しく遊ぶ姿が見られました。



今年度のまとめ

地域にある文化財にふれたり、話を聞いたりして、自分たちの住む町について知ることができました。様々な出会いと体験の中で、人々の温かさにふれ、お世話になっていることに感謝の気持ちを持つことができました。今年度も、地域で決める学校予算事業を活用し「菜の花プロジェクト」「お茶会」「リトミック」「ハローイングリッシュ」「北っ子チャレンジ」を継続し、充実した活動を行うことができました。

来年度に向けて

次年度も地域で決める学校予算事業を活用し、これまで積み上げてきた実践を継続するため、ボランティアの継続と拡充に努めたいと考えています。